

リサイクル素材 輸出拡大

関西の処理業者

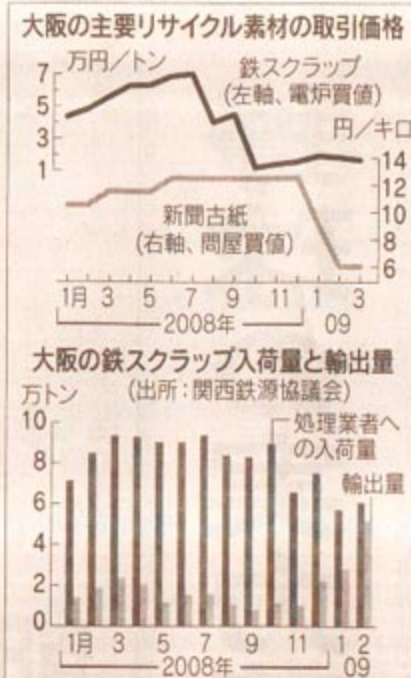
鉄スクラップや古紙などリサイクル素材を扱う関西の処理・販売業者が輸出拡大に乗り出した。需要家である鉄鋼や紙などのメーカー減産で需要が低迷しているため。緊急輸出による需給調整で国内市況を立て直す狙い。鉄は約八年ぶりの輸出強化となる。処理業者の採算悪化に伴って回収活動が一部では滞るなど、景気後退の影響がリサイクル市場にも及んでいる。

鉄スクラップ8年ぶり

鉄スクラップ処理業者約三十社で組織する関西鉄源連合会(大阪市)は先週、鉄スクラップ二万トンの共同輸出入札を実施。落札価格は一ト一万八千五百円(標準品H2、船側渡し)。大阪の電炉購入価格(標準品H2)は一ト一万五千五百円。鉄スクラップ処理業者は関西の電炉購入価格より二千五百円前後高い水準にあるが、「中国などが買い付けている」(同連合会)。

国内需要 迷 市況立て直し狙う

鉄スクラップ処理業者は、二・三割程度だった輸出比率を年明け以降五割程度に拡大。古紙の需要不振に伴って、輸出は在庫を一挙に整理する緊急対応策であるという。鉄スクラップや古紙などは製鋼原料や製紙原料として再利用される。関西は電炉が多いうえ、大都市圏で古紙などの発生



鉄スクラップ需給は電炉の生産状況に大きく影響される (大阪市内)

貨物便、週47便減

関空国際線 夏ダイヤ 旅客便は最高に

関西国際空港会社は二十四日、夏ダイヤ(三月末～十月末)の国際線ビークル便数が週七百四十六便になりそうだと発表した。半期ベースで過去最高だった二〇〇七年と〇八年の実績を三十六便(五%)下回る。旅客便は中国などアジア方面への増便により過去最高となる一方で、世界的な景気低迷のおおりに受けて貨物便が減少する。七百四十六便の内訳は

旅客便が六百九便、貨物便が百三十七便。旅客では済州(チェジュ)航空の韓国・ソウル(仁川)便や深圳航空の中国・無錫便など、アジア方面への新規路線の開設が目立つ。さらに日本航空と全日本空輸が国際線として成田便をそれぞれ一日一便就航させる。

村山敦社長は「(関空)の路線が減少している」欧米方面への旅行者の利便が見込まれるが、関空

WTC移転案否決

大阪府庁舎の大阪ワールドトレードセンタービルディング(WTC)移転案が二十四日未明の府議会本会議で否決された。これをきっかけに関西経済の発展の起爆剤として移転を支持していた関西財界を与える期待を失った。一方、米航空貨物フェ

「発展の契機 期待できた」 関西経済界 失望の声

大阪府庁舎の大阪ワールドトレードセンタービルディング(WTC)移転案が二十四日未明の府議会本会議で否決された。これをきっかけに関西経済の発展の起爆剤として移転を支持していた関西財界を与える期待を失った。一方、米航空貨物フェ

井戸・兵庫知事、3選出馬表明

兵庫県の井戸敏三知事は二日、議事所の水越浩士会頭は年

3選出馬を表明し た井戸知事(24日、兵庫県庁)

地図情報を一

NTTデータ関西(大阪)は、企業や自治体の防災・物件管理向けに、地図情報などをデータ配信する新サービスを開始する。情報の分割管理や個人認証などセキュリティ機能も高めた。利用料は地図一万分の一、端